

普及活動情勢報告（令和8年8月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

小ナスの収量向上をサポート！ ～基本管理技術の習得支援～



小ナスの整枝・摘葉のめやすを指導する普及指導員ら

農業改良普及課は津野山地域で新たに小ナスを栽培する農家の早期技術習得を支援しています。出荷最盛期となる7月はJ A営農指導員や専門技術員と連携し、土壌水分に過不足はないか、整枝・摘葉のめやす、病虫害防除を中心に指導しました。

生産者からは、「前年よりは満足した草姿になっている」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、関係機関とともに新規栽培者等への支援を行い、収量向上に向けて取り組んでいきます。

果樹の日焼け対策をしましょう ～須崎市で果樹の高温対策実証ほ調査～



文旦の果実温度を測定する普及指導員

7月14日、8月18日の2日間、須崎市浦ノ内の土佐文旦園に高温対策の実証ほとして設置した「日焼け防止テープ」の効果を調査しました。

農業改良普及課は、サーモカメラを活用して果実温度を測定し、テープの有無による温度の違いを生産者と確認しました。

生産者からは、「例年8月入ってから日焼け対策を行っているが、普及指導員の周知が早いおかげで周りの農家がいつもより早く対策を取った」「今年は7～8月の日焼けが少ないが、9月に多い年があるので、実証結果を教えてほしい」といった声がありました。

農業改良普及課は今後も、高温対策などの情報を提供し、管内の果樹の安定生産に向けて支援していきます。

新規就農者の経営安定を目指して ～前作の振り返りと次作の課題整理～



環境データを用いて前作を振り返る普及指導員

7月29日、J A土佐くろしお本所で、J A営農指導員と協力し、新規就農者2人との面談を行いました。

農業改良普及課は、前作の生育データや環境データ、月別収量実績等を用いて、前作の課題や次作に向けた目標を聞き取りました。

新規就農者からは、「11月の着果負担を抑え、年内収量を増やしたい」「循環扇やダクト送風によって、ハウスの温度ムラを軽減したい」などの改善項目を設定していました。

農業改良普及課は今後も、関係機関と連携し、新規就農者の早期の経営安定に向けて、支援を続けていきます。

須崎市安和地区の農地をどうやって守る？ ～水田維持管理対策を協議～



「見える化した地図」で農地の状況を説明する普及指導員

8月6日、須崎市安和地区で水田維持管理についての地区協議会を開催し、地元から4人、(株)土佐くろしお村村営みのり、関係機関他16人が出席しました。

農業改良普及課は、地域計画の農地所有者全員を対象に実施した調査結果を「見える化した地図」として用い、今後の対策協議を進めました。

参加者からは「村営みのりが農地を維持できる体制を整えて欲しい」という声があった一方、村営みのりとしては「受託農地の拡大は厳しく、地域に連携できる組織があれば助かる」との意見が出ました。

農業改良普及課は今後も、水管理やドローン活用、地域内における組織化など連携できそうな項目を支援していきます。

データに基づく栽培管理でしっかり稼ごう ～須崎市露地オクラのデータ活用支援～



7月のデータについて説明する普及職員

8月3日、須崎市浦ノ内でJA土佐くろしおオクラ研究会の2戸を対象に、データ活用支援を実施しました。

農業改良普及課は、7月の環境・土壌データおよび収量データを振り返るとともに土壌水分に基づくかん水管理を指導し、熱中症対策の徹底を呼びかけました。

生産者からは、「SAWACHIを使えるようになって良かった」「熱中症に気をつけて作業を行う」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、関係機関と連携し、オクラのデータに基づく栽培管理技術を検討し、生産者の目標収量達成に向けた支援を行っていきます。